

令和5年度 社会福祉法人 歩育の会 保育所の自己評価表 法人施設すべての 保育園

良く出来ている◎(80%以上) ほぼ出来ている○(60%~80%) 努力が必要△(30%~60%) ほとんど出来ていない×(30%以下)

		項目	評価	努力が必要な理由また出来ていない理由 (書ききれない場合は裏面へ)	
運営管理	1	保育理念・保育方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	◎	2	84.6%
	2	定期的な職員会議等を通じて職員の資質向上、業務効率化や改善に努めている	◎	2	84.6%
	3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確され、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	○	3	76.9%
守秘義務	1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	◎	1	92.3%
	2	園内で知りえた事柄について守秘義務を徹底している	○	4	69.2%
安全・危機管理	1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	◎	2	84.6%
	2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ、訓練が行われている	◎	2	84.6%
	3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	○	4	69.2%
	4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的を実施している	◎	1	92.3%
保育環境	1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	△	6	53.8%
	2	室内の湿度・温度・換気・照明等は園児の活動に合わせて配慮している	○	4	69.2%
	3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じられるような配慮を行っている	○	5	61.5%
	4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	○	4	69.2%
健康管理・衛生	1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達されている	◎	1	92.3%
	2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心掛けている	○	4	69.2%
	3	玩具・遊具等については、常に衛生的に保持している	○	4	69.2%
	4	SIDS(乳児突然死症候群)や感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている	◎	2	84.6%
保育内容	1	全ての園児について、ひとりひとりの最善の利益とその人権を尊重している	◎	2	84.6%
	2	園児にわかりやすい暖かな言葉遣いで穏やかに話をしている	△	6	53.8%
	3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	◎	2	84.6%
	4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	△	7	38.5%
	5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	○	3	76.9%
	6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている	◎	2	84.6%
食育	1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○	3	76.9%
	2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	○	4	69.2%
	3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	○	4	69.2%
	4	食物アレルギーのある園児は栄養士と職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している	◎	1	92.3%
子育て・地域支援	1	園児の登降園時に園児の様子を保護者に伝えている。また聞いている	○	3	76.9%
	2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	◎	1	92.3%
	3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	◎	2	84.6%
	4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	△	6	53.8%
職場環境	1	人間関係・園の雰囲気良く、働きやすい職場である	△	6	53.8%
	2	身体の健康やメンタルヘルスについて相談できる場がある	△	5	53.8%
	3	研修に対して基本姿勢が示され、受けた内容や結果を職員全体に周知し、保育業務に反映している	○	4	69.2%
	4	苦情やクレーム、要望などを職員間で共有し、保育や職場環境の改善に生かしている	◎	2	84.6%
	5	社会人としての基本的マナーや、保育者としての役割りや目標、スキルアップなどの人材育成を行っている	○	5	61.5%

総評・その他

--	--	--	--	--	--

令和5年度保育所の自己評価表 各項目のコメント

運営管理

3 ○

- ・けがでの受診の見極めなどを見直した。

守秘義務

なし

安全・危機管理

2 ◎

- ・訓練の反省をし、シュミレーションを深めながらより良くするため検討中

3 ○

- ・用意はあるが、見やすいところではない。全職員が把握するまでではない。

3 ○

- ・見直し検討中

3 ◎

- ・連絡先の整理をしてくれた（看護師）

保育環境

1 ○

- ・部屋の整理整頓は全体に声をかけているが、個人差がある。

2 ○

- ・温度が低い（幼児）

4 ○

- ・積極的に戸外に行くように心掛けている。

健康管理・衛生

3 ○

- ・消毒が行えない期間もある。（行事前など）

3 ○

- ・玩具の消毒。行事等のやる事が多いと後回しになってしまう。

3 ○

- ・消毒が定期的ではない。

保育内容

2 ○

- ・感情的になることがある。

2 ○

- ・強い口調になる時がある。

2 ○

- ・時に強い口調で注意する事もある。

4 △

- ・遊びの幅が広がり発展して遊ぶ中ではもう少し増えるといいと思う。

4 ◎

- ・置く場所に限りがあるが、できている。

4 ○

- ・乳児玩具等対象年齢等もあり難しいが工夫している。

5 ○

- ・行事で忙しくて戸外へ行けない時も多くある。

食育

3 ○

- ・幼児お便り帳任意となり喫食は希望者のみ。

3 ◎

- ・知らせているが、アプリになって見ていただいているか不安。

子育て・地域支援

1 ○

- ・夕方お迎えが重なる時間は様子を伝えるのは難しいことが多い。

4 ○

- ・実習生の受け入れが始まったばかりの為、今後理解が深まるよう周知したい。

4 ○

- ・不十分な面が見られるので、再確認していきたい。

職場環境

2 △

- ・相談できる場がない。

2 ○

- ・相談できる場はあるが、気軽に相談できているか不明である。

総評・その他

- ・今年度はシフトに入れる職員が少なかったり、フリー保育士がいなくなってしまった為、職員はかなり無理を強いられたと思う。職場環境を整えていきたいと思う。
保育に関しては子ども保護者に寄りそいながら行えたと思う。
- ・概ね出来ている。マニュアル等は年1～2回は目を通すなど具体的な方法を考えるとより良いと思う。
保育参観については、告知を多くして参加者を増やすアプローチが必要。
- ・ほぼ出来ている ○ の評価と思っている。コロナ禍後の生活の立て直し、少しずつもどしていかなくては、と思っている。保育士の採用が厳しい。紹介料を発すれば解決することだろうか。
- ・開園2年目で職員の連携等がうまく図れていないように感じた。職員とのコミュニケーションを心がけて理解を深められるように積極的に保育に入っていった。報告、連絡、相談が重要ということもその都度伝え、困っている時は耳を傾けスムーズに保育できるように助言する。配置をしていく中で事務作業は負担にならない様に時間を作り、おわれすぎない様配慮していった。今後も職員が声を出していけるよう話し掛けやすい雰囲気をつくり、一緒に1つ1つ解決ができるようにしていきたい。
- ・保育に対する意識は一人ひとり高く持っていて、職員間でコミュニケーションをとりながら良い保育を進めている。体調不良等による突然の代務についてもサポートし合える環境が保たれていて、今後も続けてほしいと思う。今後は園内の環境について、例えば物の落下など物理的な事故を防ぐ観点から常に整理整頓を心がけ、保育を進めること。また、外部の研修等に積極的に参加してより質の高い保育を目指して行きたい。
- ・年度当初は職員一人一人の保育が負担になっているのではないかと感じた。日々の保育の中で職員と話しやすい雰囲気づくりを心がけ保育を進めていく。一年を通し、保育、行事の進め方、発表など検討、見通しをしながら、園全体で子どもたちの成長を喜びあうことができた。引き続き職員間の連携をとり、より良い保育の質の向上につとめていきたい。
- ・今年度はコロナ感染症が5類になり、色々な事がコロナ前に戻る年になった。そのため、保護者への理解、協力、工夫の難しさと来年度への課題を受け止めていきたい。職員へのコミュのケーションも今以上に取り、働きやすい職場へも引き続き心掛けていきたい。
- ・コロナが明け保育や行事のやり方を昨年と変えることで色々課題が見えた1年だった。コロナ前の行事のやり方と保護者のニーズなど相違もあり、今後も検討する必要がある。子どもたちにとってより良い保育となるよう、職員一同協力しながら努めていきたい。
- ・1年間を通し人数からすると、けがなどでの病院の受診回数が多かったように感じる。受診の目やすを考えるのも1つだが、なぜ多くのけががおきるのか原因を何かの形で解決できると良いと感じます。休けいも含めて働き方などについて意見を出し合い気持ち良く働ける職場を目指していきたい。

- ・各クラスで話し合い子どもたちや年齢に合わせて、保育内容を考えて、一年間すすめられたと思う。行事もコロナ前に戻すところや、コロナを経験したことで、新しく変えていく部分もあり、よりよい物と考えていけたと思う。日々の保育での小さい疑問を共有するためにルール化していきたい所もあるが数が多いとどうやって伝えていくのが良いのか考えてしまうこともあった。新しく始めることは、きちんと話し合いを重ねてからすすめていきたいと感じた。
- ・今年度は第三者評価を受審し評価委員からは高評価をいただきましたが、利用者調査では課題のある評価もあった。まだまだ見える化が足りないように思えた。先生たちはできる限りアピールしていると思うが、やっぱり ICT 化が必要視されているように思う。携帯（スマホ）アプリでの保護者との共有が求められているようだ。日々の保育ではケガが他園に比べて多かった。首から上の受診が多かった。分析をして次年度は改善をお願いしたい。保護者対応に関しては、特になかったと思う。日頃からの保護者との良好な関係づくりに感謝。
- ・玩具に関しては、開園 20 年が過ぎ、古いおもちゃが多く、おもちゃ系の協力を得て年齢にあった、また、今の主流（流行り）になっているおもちゃを取り入れていきたい。
メンタルヘルスについて、規定もあり整備されているが、職員に周知され活用されていないと感じる。
- ・職員間の連携は取れておりお互いに協力する姿勢が見られるが、もう少し一人ひとりが自覚を持ち、周囲の事にも目を向け発信できると更に良いと思う。
監査や第三者評価を機にマニュアル等の見直しや安全面での改善等取り組めた。日々の保育の問題点も常に意識し更によりよい保育ができる様に取り組んでいきたい。